

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	情報メディア演習	科目コード	F120102		
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.2	4.3	4.2	4.2	
学生へのメッセージ					
<p>できるだけ実践的な ICT スキルを身に付けてもらいたいと思い、授業プランを組み立てました。今後、もっと ICT スキルを技術を使って仕事をする場面は増えてきます。今のうちからいろんなアプリケーションやツールに興味を持ち、使ってみることで、生活がより効率的に、豊かになることを実感してもらえたらと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科理工学	科目コード	T131301		
担 当 者	森谷徳文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.8	4.1	3.9	4.1	4.1	
学生へのメッセージ					
<p>スライド説明が早く、聞き取りにくい声の大きさがあったと反省しています。</p> <p>教科書は専門領域の先生方が改訂を繰り返して完成しているものであり、要点が凝縮されています。繰り返し読み直して、分かりにくいところは調べたことを書き込み、国家試験前や歯科衛生士となった後も役立つように、自分なりの教科書を完成させて下さい。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科理工学演習	科目コード	T131401		
担 当 者	氏橋貴子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>歯科理工学演習では印象材や歯科用接着材など、歯科材料の基本的な性質や操作方法について学びました。来年度からはこれらの歯科材料を使用する治療内容や、その材料を患者に対して使用する際、どのような配慮が必要かを学んでいきます。歯科理工学演習で学んだ知識や習得した技術を基にステップアップしていきましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科診療の補助演習	科目コード	T131501		
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.6	4.5	4.5	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>感染対策に留意しながらの対面授業でしたが、皆さんがしっかりと感染対策を実践して、体調不良で欠席する学生も少なく、最後まで予定通りに授業がおこなえたことを嬉しく思います。授業を通して、より感染予防の意識を高めることができたのではないかと思います。</p> <p>実習室を利用した初めての実習になりますので、3名の教員で細かな点まで注意しながら授業を進めました。「分かるまで丁寧に指導して下さったのが良かった」との意見もいただきました。</p> <p>授業評価は、学科平均より高く「4.6」、全ての項目に置いて学科平均を上回る結果でした。この授業は、今後の診療補助関連の授業の基礎となります。2年次以降の授業も、学ぶ楽しさを実感しながら受講してもらえたらと思います。</p>					

学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科予防処置論	科目コード	T133001		
担 当 者	高橋由希子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.0	4.1	4.2	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>2年生よりこの講義の内容に沿った実習が開始されるため、楽しいと思えることを探しながら、実習に望むことを希望します。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	歯科予防処置演習 I	科目コード	T133101		
担 当 者	破魔幸枝				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>質問がしやすい、質問して勉強になったとコメントしてくれて嬉しかったです。質問することで、疑問を解決し、学習の幅を広げることができます。もっと、皆さんが声を発しやすい学修の場にしたいと思っています。</p> <p>また、一人一人にかかる時間を考えてほしいという意見もいただきました。一人一人へ公平に対応することに注意し、時間も丁寧に取れるように計画したいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1		
科 目 名	生化学	科目コード	T120301		
担 当 者	森谷徳文				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.1	4.0	4.1	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>スライド説明が早く、聞き取りにくい声の大きさがあったと反省しています。次年度は講義回数を増やし、聞き取りやすい話し方と大きさを講義を行おうと考えています。</p> <p>生化学は今後も（卒業した後も）必要となる基礎知識のため、大まかに全体を理解することが大事だと思っています。</p> <p>教科書は専門領域の先生方が改訂を繰り返して完成しているものであり、要点が凝縮されています。繰り返し読み直して、分かりにくいところは調べたことを書き込み、国家試験前や歯科衛生士となった後も役立つように、自分なりの教科書を完成させて下さい。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯科診療補助演習Ⅲ	科目コード	O231501		
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.5	4.6	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>私たち歯科衛生士が歯科臨床で出会う対象者は健康な人ばかりではなく、高齢者や障害者、さまざまな疾患を有する方などがいらっしゃいます。対象者の全身状態を的確に把握し、安全で質の高い歯科医療を提供し、チーム医療の一員として専門性を持って業務を実践できるよう、この歯科診療補助演習Ⅲでは歯科衛生士に必要な知識・技術を演習を通して修得し、臨床に応用できる能力を身につけることを目標としました。</p> <p>また在宅歯科診療やホワイトニング・インプラントなどの先端歯科医療についての学習もおこないました。演習では車椅子の操作や吸引、バイタルチェックや移乗の介助など、将来、臨床の場面で絶対に必要となる幅広い技術の習得ができたことと思います。一度も目にしたことがない、実践したことがない机上の学習ではなく、実際にこれらの実技をおこなえたことは、今はまだ技術面での自信が持てないかもしれませんが、将来必ず大学で学んだ内容が基本となり実践の場面で役立つと信じています。この授業での目標に掲げたように、将来的に幅広くいろいろな情報に興味を持ち吸収することができる歯科衛生士になってほしいと思います。</p> <p>総合評価は「4.6」、「主体的に学習ができる授業内容であった」「プリントや説明がわかりやすかった」「実習があり、実際に器具や患者役、術者役になりどちらの気持ちも理解できた」など、演習ならではの授業の良さを理解してもらえたようです。</p>					



## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	オーラルリハビリテーション	科目コード	O231601		
担 当 者	澤田美佐緒				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.2	4.4	4.4	4.4	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>授業では、重度の摂食嚥下障害の方のを中心に授業を進めました。</p> <p>しかし、今後、一般歯科医院においても歯科の第3の疾患として口腔機能低下症への対応が増えてくると思います。</p> <p>患者さんを捉える時に、う蝕や歯周病ばかりに着目するのではなく、全身の状態から摂食嚥下機能も含め総合的な視点を持つことで、食べる楽しみ、生きる楽しみを支える口腔健康管理を実現していけるようになると思います。</p> <p>また、小児に関しては、発達段階で口腔機能を獲得するところからのかかわりになります。食生活を含めた指導ができるように観察力も高めていきましょう。</p> <p>この分野は歯科衛生士の役割のなかでも、これまで学んだことが複雑に関わり合い総合的な理解が必要なため難しく感じるかもしれません。</p> <p>本を読み授業を聞いただけでは分からない部分を自分や家族の日頃の食生活や行動を観察することで、理解を深めていってください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科		学 年	2	
科 目 名	オーラルリハビリテーション演 習		科目コード	O231701	
担 当 者	上原弘美				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.4	4.7	4.7	4.7	4.7	
学生へのメッセージ					
<p>本科目はさまざまな全身状態にある対象者に対して、歯科衛生士としてどのように関わるかを学習する内容でした。今まで学んできた歯や口腔に関連することだけでなく全身疾患や摂食嚥下訓練・食事介助まで幅広い範囲を学習しました。この後の3年次前期の臨地実習施設である病院歯科や高齢者施設での歯科衛生士の業務に直結する内容を多彩に盛り込んだ授業内容になっています。春休み期間を利用して、授業を振り返り、まとめをおこない、4月からの実習には知識を自分のものとして臨んでもらいたいと思います。</p> <p>授業以外に学習した時間は2時間以上の回答が18名、1～2時間が23名と、予習や復習に時間を割いて積極的に学習した姿勢が見られました。毎回の授業レポートをまとめるのは大変だったと思いますが、アセスメント能力が向上したことと思います。</p> <p>「プリントが見やすくわかりやすかった。丁寧に教えてくれて疑問が残らなかった。」「学内実習もわかりやすく3年生の臨地実習でも活かせる内容だった。」「過去の事例を紹介しながら教えていただいたのが印象に残った。」など、受講して良かったという多くの意見をいただきました。この授業の内容を基盤として、3年次前期の臨地実習が充実したものになることを期待しています。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	2		
科 目 名	歯科保健指導演習Ⅲ	科目コード	O233601		
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.6	4.5	4.6	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>臨地実習期間の授業であり、団指導の原稿作成は授業内だけでは厳しく、時間外での作業を必要としたことと思います。ほとんどのグループが期限までに提出することができたため、積極的に学習に臨んでいたと思います。1年生との合同実習では1人の歯科衛生士の卵として患者に接する緊張感のある実習になったと思います。最終学年になりますので、国家試験を見据えて、知識の習得に励みましょう。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	生涯発達論	科目コード	O211301		
担 当 者	柳原利佳子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.5	4.8	4.8	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>少人数の授業のため、アンケートには回答しづらかったかもしれません。実質的な履修人数は5名でしたが、そのうちの2名の方からの回答をいただきました。授業を通して、生涯発達という考え方がみなさんは卒業してからもずっと発達し続けていく存在である、というイメージを掴んでもらえたことと思っています。これまでの自分を振り返り、今後の各年齢段階の自分の発達イメージを持ってこれからの人生を歩んでほしいと思います。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	遺伝子と再生医療	科目コード	O211501		
担 当 者	坂本秀生				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.7	4.3	4.4	4.2	4.3	
学生へのメッセージ					
<p>遺伝子やDNA、プロモータ・遺伝子発現など、難解な内容だったと思いますが、レポートはよくかけておりました。</p> <p>歯科領域が再生医療分野では実用性に高く、歯科領域で再生医療を応用する日が来たら、この授業を少しでも思い出して下さい。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	災害時の歯科衛生士の働き	科目コード	O235001		
担 当 者	高橋由希子				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
4.3	4.5	4.6	4.6	4.6	
学生へのメッセージ					
<p>いつ災害がきても対応できるように、大学で学習したことをもとに、職場での防災活動のリーダーになって下さい。卒後ぜひボランティアに参加してください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	3		
科 目 名	口腔保健特論Ⅱ	科目コード	Z030701		
担 当 者	福田昌代				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリーⅠ (学生自身)	カテゴリーⅡ (授業内容)	カテゴリーⅢ (授業方法)	カテゴリーⅣ (学習成果)	カテゴリーⅤ (総合評価)	
4.3	4.6	4.5	4.6	4.5	
学生へのメッセージ					
<p>国家試験対策の科目で、緊張した授業が続きました。国家試験が近づくにつれ、皆さんの表情も変わり、とても内容の濃い授業になったと思います。最後に集中的に詰め込むような形になり、もう少し早くから勉強に集中することができたら、もっと楽しく学修することができたのではないかと考えています。しかし、追い込みであっても学修したことは今後、歯科衛生士として仕事をしていく上で、大いに役立つ内容ばかりですので、忘れてしまわずに今後に活かしてください。</p>					

## 学生へのメッセージ

学 科	口腔保健学科	学 年	1, 2, 3, 4		
科 目 名	コミュニティデザイン	科目コード	F130301		
担 当 者	室崎友輔				
カテゴリー別授業評価調査結果					
カテゴリー I (学生自身)	カテゴリー II (授業内容)	カテゴリー III (授業方法)	カテゴリー IV (学習成果)	カテゴリー V (総合評価)	
3.5	4.1	4.2	4.2	4.0	
学生へのメッセージ					
<p>ゲストからの事例紹介やフィールドワーク、そしてグループワークを通じてみなさんにコミュニティデザインについて学んでもらいました。できるだけ実践的なアイデアの手法を身に付けてもらおうと授業を組み立てました。今後の学生生活や社会人生活に少しでも役に立てばと思います。皆さんの考えたアイデアに対して、色んな視点を持ったもらいたかったため、少し厳しい評価をしてしまったかもしれません。色んな経験を積んで、もっと独創的なアイデアを出せる人になってほしいなと思います。</p>					